

子どもの「せいかつ探検」を学びにつなげる 学習展開がひと目でわかる構成

小単元は、活動が一覧できるよう、見開き完結の構成にしました。
学習の進め方がひと目でわかるので、どの教室でも、
生活科らしい学びの深まりが実現できます。



ステップ① 意欲と見通しをもつ

リアルな写真が意欲を喚起し、
「やってみたい」を引き出します。 **10ページ**→

ステップ② 学びを深める

学習過程が見える写真と考えるための
ヒントで、学びの深め方がわかります。 **12ページ**→

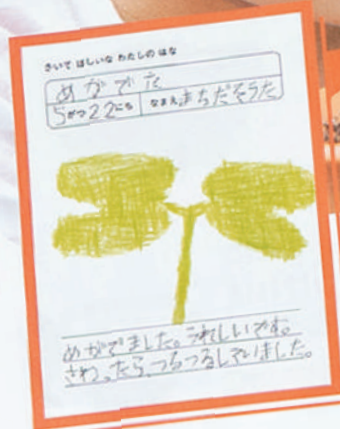
ステップ③ 振り返る・つなげる

振り返りの工夫で、次の学びへ、そして、
日常へと学びをつなげます。 **14ページ**→

せわをしよう

活動場面の子どもたち /
現代の教室の多様性を反映しました。 **13ページ**→

きのうと かわった ところは どこかな。



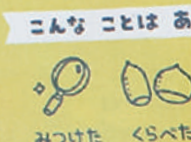
まだ めが
でないな。



どう すれば、ようすが
わかるだろう。



はなの せわを して、
どんな きもちに なったかな。



単元の構成 /
単元の見通しをもちやすい構成。 **15ページ**→



リアルな写真が意欲を喚起し、 「やってみたい」を引き出します

表情豊かな写真 だから、やってみたいくなる

夢中で取り組んでいるときの真剣な視線や、悩んでいるときの困り顔、そして願いを達成したときの笑顔。一つ一つの表情にこだわって写真を用意しました。子どもたちを学びの世界に引き込みながら、気づきの質を高める原動力ともなります。



▲上巻34ページ



嶋野先生のひとこと

新版教科書は、活動や体験をしている写真がいい。先生方には、子どもの表情、仕草や振る舞い、眼差しなどから、写真に表出した学びの姿を見取っていただきたいと思います。また、リアルな教室環境を積極的に提示しているので、授業作りにも役立ちます。



編集委員会代表 嶋野道弘

＼ヨシタケさんコーナー／ 子どもの本来の姿、子どもたちの本音がここに

さまざまな子が織りなすストーリーを、子どもたちといっしょに楽しんでください。

現実の教室のように、ドキドキしている子、うまくいかない子、不思議なことをしている子がたくさんいます。きっと、これまでの教科書では出会えなかったクラスの子どもたちが、必ずどこかにいることでしょう。

学習環境を提示 しているから、やってみたいくなる

写真には、積極的に学習環境を盛り込みました。写真ならではのリアリティによって、「自分にもできる」「やってみたい」と子どもの意欲を喚起します。また、先生方の授業づくりの参考にもなります。

教室掲示

ICT活用



▲下巻74ページ

座席等の工夫

学習過程が見える写真と考えるためのヒントで、学びの深め方がわかります

「学び方のヒント」で、学びが深まる

「学び方のヒント」を全ての小単元に設定しています。つまづいたときや試行錯誤するときに大切になる考え方や、活動、表現のバリエーションのヒントを示しています。主体的、対話的で深い学びにつながる手がかりとなります。

どんな みつけかたがあるだろう。



▲上巻44ページ：考え方のヒントを提示

たねをとったあとは、どう しようかな。



▲上巻40ページ：活動や表現のバリエーションのヒントを提示

嶋野先生のひとこと

「学び方のヒント」は、学びの観点からいえば、その小単元の「考えどころ」です。先生の意図と子どもの思いや願いを共鳴させる場面となり、声かけの参考や見取りのポイントにすることができます。また、ここを指導の山場としてイメージすることで、単元計画を立てる際にも役立ちます。



編集委員会代表 嶋野道弘



▲上巻44ページ

活動場面の子どもたち / 現代の教室の多様性を反映しました

全ての子どもが、生活科に参加する意識をもてるよう、多様な子どもたちの個性あふれる活動の様子を教科書紙面に掲載しました。



学習過程が見えるので、学びが深まる

写真とふきだしの効果を生かして、学習の過程を提示しました。紙面を順に見ていくことで、どんな気づきを与えて、どのように学びを深めていくのかを自然とイメージすることができます。

気づき



学びの深まり

上巻46ページ



ステップ 3 振り返る・つなげる

振り返りの工夫で、次の学びへ、 そして日常へと、学びをつなげます



「ふりかえろう」 で、振り返りが変わる

「ふりかえろう」を全ての小単元に位置づけました。活動中の出来事を、「感情」と「思考・態度」の両方の面から確かめ、表現することで、出来事の羅列や単なる感想にとどまらない確かな振り返りの場となり、次の学習につなげていくことができます。

ふりかえろう

はなの せわをして、
どんな きもちに なったかな。

こんな ことは あったかな

みつけた くらべた たとえた

感情の振り返り

活動との中で湧き起こった気持ちとを、ともに振り返ることで、そのときの出来事が鮮明に思い出され、次の思いや願いが立ち上がります。

思考・態度の振り返り

学習指導要領で示された学習活動を分析し、思考や態度に関わる14の観点を設定しました。示された観点を手がかりに子どもが出来事を振り返ることで、その活動の中でどのような思考を働かせたのか、次の学習で何を実現したいのかを見とる手がかりになります。

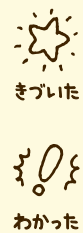
嶋野先生のひとこと

振り返りは、学びを定着させ、成長を実感するために重要で、こまめに行い、次の学びに生かしていくことが大切です。小単元ごとに設定された「ふりかえろう」は、学習指導要領に沿った観点が示されており、見取りや評価、子ども理解に役立ちます。



編集委員会代表 嶋野道弘

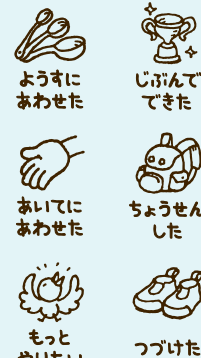
知識及び 技能の基礎



思考力、判断力、 表現力等の基礎



学びに向かう力、 人間性等



単元末のページ で、振り返りが変わる

単元末の振り返りでは、自分の活動体験を、自分の言葉で表現することが大切です。こうした振り返りを、どの教室でも実現できるよう、丁寧にステップを示しました。

① 対話の中で振り返る

友達と対話することで、自分の活動をより詳しく、さまざまな視点で振り返り、言語化します。

② 自分の言葉で表現する

①で言語化したことをもとに、自分の言葉でまとめていきます。単元の特性に応じた、多様な表現形式を提案しています。

たのしい
まいにちに
つなげよう

単元の締めくくりとして、「たのしい まいにちにつなげよう」を設けました。単元の学びを、日常生活で生かしたり、生活を豊かにしたりするためのヒントを提示しています。

すてきな はなを そだてられたかな

はなを そだてて、かんじた ことや
かんがえた ことは、なにかな。
もっと やって みたい ことは なんだろう。



41

▲上巻 41 ページ

単元の構成 / 単元の学習を見通しやすく示しました

導入 ▶ 展開 ▶ 振り返り



導入 単元扉

展開 学習活動

振り返り 単元末

●単元扉

学習対象と子どもたちの写真をダイナミックに配置。魅力的な出会いによって、活動への思いや願いをもてるようにしました。ヨシタケさんのイラストでは、子どもが対象と出会う瞬間の反応がユニークに描かれます。